

ラテックスアレルギーの問題解決とゴム薬の新展開！  
第253回ゴム技術シンポジウム

ゴムおよびゴム薬の衛生問題とポジティブリスト

主催：一般社団法人日本ゴム協会研究部会 衛生問題研究分科会  
協賛：日本ゴム工業会、日本化学会、塩ビ食品衛生協議会、ポリオレフィン等衛生協議会  
塩化ビニリデン衛生協議会、繊維学会、マテリアルライフ学会、日本レオロジー学会  
日本グローブ工業会、日本調理用手袋協会（順不同）

.....  
ゴム製品は人体に触れる機会が多く、衛生問題を理解しながら使用することが望まれる。一方で衛生問題を解決し、安心してゴム製品を使用できる環境づくりが企業には求められている。本シンポジウムでは、ゴムおよびゴム薬の衛生問題を考慮しながら最新の技術・研究成果を紹介し、ゴムに関するポジティブリストの作成について議論する。

日時：2019年2月26日（火）9：50～17：05

場所：東部ビル5階会議室（東京都港区元赤坂1-5-26）TEL 03-3401-2957

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員 23,760円 日本ゴム協会学生会員 5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属の会社が法人としてゴム協会会員（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受け付けます

シニア制度対象会員 11,880円（60歳以上の正会員） 会員外 32,400円

受講料には消費税・テキスト代を含みます。

申込方法：弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp> よりお申込みください。（定員50名）

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第253回ゴム技術シンポジウム係

（〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL 03-3401-2957 FAX 03-3401-4143 E-mail: [kenkyuubukai@srij.or.jp](mailto:kenkyuubukai@srij.or.jp)）

9：50～10：00 開会のあいさつ 衛生問題研究分科会主査 河原 成元

【座長】ヘンケルジャパン(株) 林 茂毅

10：00～11：00 「ゴム及びゴム薬によるアレルギーと検出法」 (一財)化学物質評価研究機構 前田 洋祐氏  
ラテックスアレルギー及び接触性皮膚炎の発生機序と検出法に関して概説する。

11：00～12：00 「環境に調和したクロロプレンゴムの開発動向」 デンカ(株)藤井 信彦氏  
環境負荷低減や安全衛生などの観点から、最近のCRの開発動向を概説する。

【座長】東京工業高等専門学校 山本 祥正

12：50～13：50 「水性ポリウレタンコンポジットの調製と物性」 愛知工業大学 山田 英介氏  
アニオンあるいはカチオン型の水性ポリウレタンを合成し、クレーあるいはCNFとのコンポジットを各種調製し、それらの物性について述べる。

13：50～14：50 「エポキシ化天然ゴムおよび高純度天然ゴム」 住友ゴム工業(株) 榎 俊明氏  
天然ゴムから作られるエポキシ化天然ゴムおよび高純度天然ゴムについて、概説する。

【座長】元・住友ゴム工業(株) 岩田 幸一  
大内新興化学工業(株) 有我 望氏

15：00～16：00 「ゴム薬品のNLとPL」  
NLとPLについて有機ゴム薬品を中心に解説する。

16：00～17：00 「ゴム製品のポジティブリスト」 長岡技術科学大学 河原 成元氏  
ゴム製品のポジティブリストを作成するにあたり、日本ゴム協会衛生問題研究分科会の指針を講述する。

17：00～17：05 閉会のあいさつ 衛生問題研究分科会副主査 岩田 幸一

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp> からお願いします。